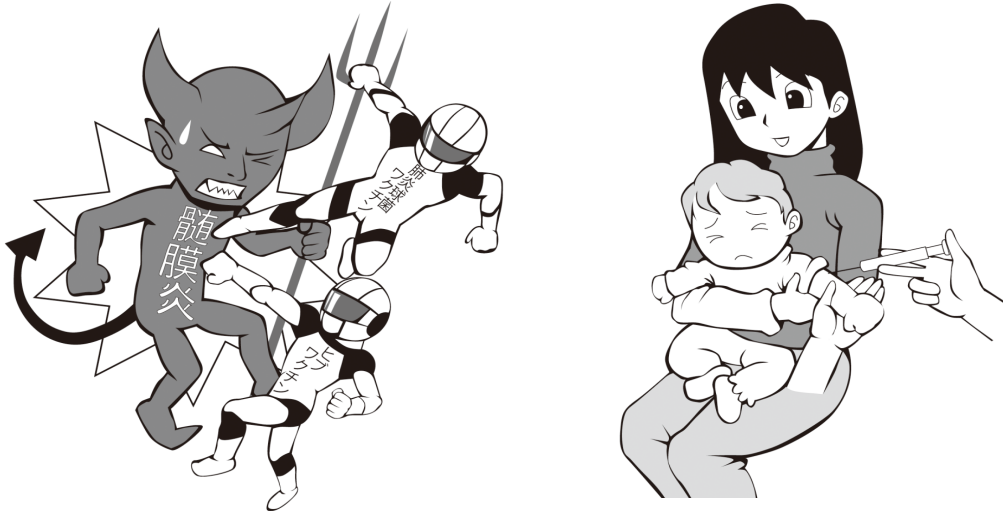


# 予防接種は、生後2か月から

子どもを細菌性髄膜炎から守ろう！

## ★ 子どもの細菌性髄膜炎について

- ・ 脳や脊髄を包んでいる膜に細菌が感染して起こる病気です。
- ・ 約60%がヒブで、約30%が肺炎球菌で起こります。
- ・ 日本では1年間で、約1000人近い子どもがかかっています。
- ・ 約50%が0歳で、約30%が1歳で発症しています。
- ・ 5～10%が死亡し、20～40%に後遺症が残ります。
- ・ 予防はワクチン接種以外ありません。99%予防できます。



## ★ 早くワクチン接種をすることが大切です！

### ● お勧めの接種スケジュール

- ・ 1回目は生後2か月に、ヒブワクチンと肺炎球菌ワクチンを接種し、2回目は生後3か月、3回目は生後4か月に行うことが推奨されています。
- ・ 2回目の生後3か月からは、三種混合ワクチンとの同時接種も可能です。  
(同時接種をしない場合は、単独で1週間毎に接種していきます。)
- ・ 3回目から1週間後にBCG接種を忘れずに受けましょう。

### ● 公費で無料の期間

- ・ 生後2か月から4歳まで無料で接種できます。幼児も積極的に受けましょう。

## ★ すべての赤ちゃんにヒブと肺炎球菌ワクチンを！